


農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	共生環境課程・助教・白旗 学	
紹介する研究シーズ名	スギ高齢林における介在木の個体成長と樹冠構造	
キーワード	スギ高齢林、介在木、樹冠、幹成長	

シーズの「売り」は！！

スギ高齢林内の介在木について、成長の良いものを樹冠構造から判断する

- ・スギ高齢人工林の介在木について、節解析（幹内の節から過去の枝の発生年，成長経過を調べる方法）をおこない，過去の樹冠発達を調べました。
- ・樹幹解析から得られる過去の幹成長量から，幹成長と樹冠成長の関係を調べました。
- ・現在同じ幹サイズでも，過去～現在の成長経過が異なっている個体があり，成長がよいものでは，下部の枝の枯れ上がりが遅く樹冠長が長くなる傾向がありました。
- ・間伐で現在の幹成長が高い個体を選びたいような時，樹冠長がひとつの目安になると考えられます。



調査林分（80年生スギ人工林）



節解析の様子

幹を縦割りにして年輪の巻き込みの様子から枝の成長停止年，枯死年（巻き込み開始）を読み取る

【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

スギ高齢林の間伐をおこなう際の選木基準として有用とされます。

関連特許・関連資料等

特になし